

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

弁護人高崎健の上告趣意は、事実誤認、訴訟法違反、量刑不当の主張であつて、
刑訴四〇五条の上告理由に当たらない。（赃物故買罪と未必の故意について、昭和二
二年（れ）二三八号同二三年三月一六日第三小法廷判決、集二卷三号二二七頁参照）。
また記録を調べても同四一條を適用すべきものとは認められない。

よつて同四一條、三八六条一項三号により裁判官全員一致の意見で主文のとお
り決定する。

昭和三〇年七月一日

最高裁判所第二小法廷

| | | | |
|--------|---|---|-------|
| 裁判長裁判官 | 栗 | 山 | 茂 |
| 裁判官 | 小 | 谷 | 勝 重 |
| 裁判官 | 藤 | 田 | 八 郎 |
| 裁判官 | 谷 | 村 | 唯 一 郎 |
| 裁判官 | 池 | 田 | 克 |